

# レズ寝とられく大学生、ミツキのレズ堕ちく

最終稿

2020.07.12

(ア)トラック11…日常パート

2. SE:チャイムの音

3. (インターホン越しに、控えめに)
4. …ミツキです。いきなり、ごめんね。今日、時間…ある？
5. (ミツキに話しかけている感じで)
6. ちょっとミツキー、相手は彼氏さんだから、そんなに下手に出なくてよくない？
7. 遊びに来たのー、開けてよー！ ぐらいいいんだって。
8. ほらー早く開けてよー、ミツキの彼氏さーん！
9. (インターホンに入らないように小さな声で)
10. もうっ！ アオイちゃんっ…！
11. 何の連絡もなしに押しかけてるんだよ？ そんなこと、言えっこないよ。

12. SE:玄関を開く音

13. (ミツキ、トラック11は終始よそよそしく)
14. (僅かに驚きながら) あっ…よかった…家に、いてくれた…。
15. ずっと連絡してなくて、ごめんねっ！ 君に会いたくてさ、何も言わずにきちゃった。
16. あれっ、もしかして…驚いてる？ くすくす。
17. それとも…彼女の顔…忘れちゃったの？
18. ? 私、ミツキだよ。そんなに雰囲気変わった、かな？
19. ふふふっ、アオイちゃんに言われてイメチェンしてみたんだよ。どう？ 似合う？
20. …もう、何か言ってくれないとき、わかんないよ。
21. それに私ね、今日のためにいつもよりオシャレしてきたんだあ。
22. 久しぶりに君に会うんだもん、当然だよ。
23. そーそー、ミツキったら可愛いんだもん。私がオススメしたもの、ゼーんぶ似合っちゃって、困っちゃったよ、くすくす。

24. (アオイに声掛け) ちょっと、アオイちゃん、今は黙ってて…!

25. ちえっ…はーい。

26. (主人公へ声掛け) 連絡もなく、心配させちゃったのは悪いと思ってるよ。だから、今日…会いに来たの。

27. ね、外でお話するのも何だし…中、入っていい?

28. (主人公を押しつけるように)

29. くすっ、男の子に家にあがったのなんて久しぶりだろー。

30. あっ、アオイちゃんっ…! ちょっとまだ、彼はいいって言っていないよ…!

31. いいの、いいの。ねっ、彼氏さんっ? おじゃましまーす♪

32. SE:家に入る音

33. ごっ、ごめんね、アオイちゃんは全然悪い子じゃないんだけど、たまに、ちょっと…(頼もしそうに) ふふっ、今みたいに空気を読まないところがあってさ。

34. でも、私も、そろそろ君の家にあがって…いい?

35. ふふっ、ありがと。それじゃあ…おじゃま、します。

36. SE:家にあがる音

37. 君の家に来たのも久しぶりだなあ…。あの日、以来だよ。

38. (恥ずかしそうに) あ、あの日って…は、初めて…エッチ…した日だよ。

39. その後すぐ…連絡を取らないようになってさ、本当にごめんね。

40. SE:服が擦れる音

41. (部屋から空気を読まずに) 彼氏さーんっ! ちょっとキッチン借りるねー! 飲み物、入れたげるよ。

42. SE:ぐんぐんに座る音

43. ぐんぐん 君のベッドにこうして腰掛けるのも…すごく久しぶりだね。

44. 私と会わなくなってから、他の女の子がココに座ったり、した？
45. …そう、そんな子、いないんだ。
46. (咳くように) ふふ、そう、だよ。君は…ふふつ、私の…大切な人、だったもんね。
47. 私以外の女の子に…惹かれること、ないよね。なのに、私は…。
48. …ごめんね。君からの連絡に返事、できなくて…。
49. 悪気があったわけじゃないんだけど、ちょっと…忙しくてさ、ごめん。
50. 体調？ 体は全然、なんともなかったよ。それに…君に会いたくなかったわけじゃないの。
51. …心配、してくれてありがとね。
52. 君は…なんともなかった？ …そう、なら、よかった。
53. ただ、ほら、うんつ、ね？ 気分転換、っていうか、その…アオイちゃんと一緒に、自分を見つめ直してた…そんな感じ、かなあ。だから、あまり心配しないで、大丈夫だよ。
54. 君を忘れた日なんて、一度もなかったし…。

55. SE:部屋を歩く音      フローリング

56. (歩きながら声をかける) もー、ちょっとやそつと連絡が取れないくらいで、問い詰めなんてひどいよー？
57. ミツキにはミツキの、あなたにはあなたの時間があるんだし、たまには、彼氏と合わない時間も大事なんだよ。より魅力的な女の子になるためにもね。
58. ほら、じっくり見てよー、今のミツキ、すごく可愛くない？
59. 服装だけじゃなくて、肌の感じとか…あと、そうだなあ、前より明るくなって、あどけなさがなくなったよ。すっかり大人の女の人って感じ？
60. (照れ気味に) …あ、アオイちゃんっ…そんなこと、ないよ。
61. くすっ、またまたー謙遜しちゃってさー。
62. あなたからも言っただけだよ。今のミツキの方が可愛いよ、ってさ。
63. って、彼氏さんは口下手かな、きつと。じゃあほら、穴が開いちゃうくらい…ミツキをよーく見てあげて…。

64. …もうっ、言われるがまま、そんなにじろじろ見ないでよ…恥ずかしいじゃん。
65. くすくす、彼氏さんもウブだなあ。ミツキを見つめるだけでほっぺを赤くしちゃってさ

あ。

66. どう、可愛いでしょ？ 私がおめかししてあげたミツキ♪

67. (恥ずかしそうに) アオイちゃんったらあ…！

68. くすぐすつ… (思い出したように) あっ、そうだ、お菓子持ってきたんだよ。飲みながら話さない？

69. 遠慮しなくていいからさ、ほら、ミツキも、彼氏さんも、ね？

70. SE: 飲み物を置く音

71. ありがとう、アオイちゃん。いただきます… (飲む音) んう…んっ…んん…。

72. …あっ、美味しい…。この前オススメしてくれたやつだ。甘すぎなくて…すぐ飲みやすいよ。

73. ミツキもこう言ってるんだし、彼氏さんも飲みなよ。

74. ミツキにあなたの好みも聞いてさ、ちょっとだけお菓子もあるから。

75. ね、君も、せっかくだし食べようよ。

76. …ちよっとー、私のこと怪しんでない？

77. 何もさー、仕込んだりしてないし、あなた達、会うの久しぶりなんでしょー？ もう少し楽しそうにお話したらいいじゃん。

78. そうそう、ほら、飲んでさ、こっちのお菓子も食べなって。

79. (咀嚼音) ぱくぱく…もぐっ、もぐ。あっ…うん、うんっ、美味しいっ♪

80. あっ…アオイちゃん、唇に、お菓子のカスが付いてるよ。

81. (舌で舐めとる) ぺろっ…。ふふっ、とーれた、やっぱり美味しいね。

82. くすっ、ちよっとーミツキ、彼氏さんの前でしょ？

83. お菓子のカケラを舐めとるなんてさ、いくら彼氏さんだって嫉妬しちゃうよ。

84. もちろん、私も目の前でされたら面白くはないし、こういうのは二人きりの時だけにしないと、ねっ？

85. …そっ、そうだったよね。ご、ごめんね、つい、くせで…。

86. 君にも、ごめん…。(申し訳なさそうに) 私たち…ふふっ、この前、三か月記念を迎え

たばっかりなのに…。

87. そうなんだあ、三か月記念かあ、くすっ、それなら尚更嫉妬、しちゃってるかもね。  
88. ? 嫉妬、してないの? そっかあ、それは残念だなあ…。じゃあ、これなら、どう?  
89. ミツキ、あなたが今持つてるお菓子、一口ちょうだい♪  
90. あーむっ…んっ…(指舐め)ペーろっ…。

91. きゃっ…指まで舐めないでよお、アオイちゃん…。

92. えー、ミツキの指美味しいんだもん。舐めたくもなっちゃうよ。

93. もちろん、お菓子も美味しいけどさ。くすくす。

94. ? (主人公に尋ねるように) どうしたの? 私と…アオイちゃん?

95. うーん、仲良くなったのは最近だよ、ねっ?

96. そうそう、バイト先が一緒だってこともあってさ、たまに飲んだりもするし?

97. お酒を飲み交わしたら、そりゃ仲も深まるでしょ。

98. ミツキ、可愛い顔して案外お酒も強いしね、くすっ。

99. 彼氏君はさ、ミツキと飲んだりしなかったの?

100. (思い出すように) …そういえば、あまり飲まなかったね。

101. 私は…お酒を飲み過ぎちゃって酔っぱらうのもイヤだったし、君は…たしか、あまりお酒が得意じゃなかったよね。

102. えっ、そうなのー? 勿体ないなあ。ミツキってば、酔うととっても可愛くなるのに。

103. だから、アオイちゃん、あまり余計なこと言わないでよ。

104. 余計なことなんかじゃないって。

105. 彼氏さんだって、色んなミツキの一面を知りたいだろうしさ、教えてあげないと♪

106. それに、彼氏さんが知らないミツキの一面をさ、私だけが知ってるって考えたら…くすっ、うれしいじゃん。

107. ちょっとー、アオイちゃんっ!

108. くすっ、ごめーんね。ついからいたくなっちゃっただけだよ。

109. 彼氏さんもごめん、悪気はないんだ。ただ、ついだよ、つーい♪

110. (呆れた感じで) ついて…。

111. でも、お酒と一緒に飲まなかったからといって、仲が深まらないわけでもなかったし、私たち…お互いにさ、好き…だったもんね。別に、酔わなくなつて、素直にさ、何も隠さずにお話してたし。ねっ、そう、でしょ？

112. SE: 服が擦れる音 頷く主人公

113. もー、二人してなに惚気てんのー？

114. これ、お酒じゃないのに、既に酔わされてんじゃん。好きな相手に、さ。くすくす。

115. の、惚気てなんか、ないよね？ ほら、君からも何とか言つてよ。

116. 何か言わないと、アオイちゃんつてば調子に乗っちゃうんだから。

117. 調子に乗るって何よ。大体私は本当のことを言ってるだけだつて。

118. でも、今のうちに何か言っておかないと…(意味深気に囁くように) 取り返しがつかないことになっちゃうよ？ どんな言葉も…ミツキには届かなくなっちゃう。

119. ? 君、どうかしたの？ そんなに目を擦ったら、赤くなっちゃうよ？

120. (囁くように) ほらほら…眠たくなつてきちゃったのかなあ？

121. ねっ、どうしたの？ 瞼、重たそうにして…。

122. くすくす、ミツキも白々しいなあ。

123. ぜーんぶ、私の計画通りになつて、知ってるくせに。

124. …そ、そう…だけど…。でも、やっぱり…。

125. やっぱりじゃないよ。今日は…コイツにお別れを言いに来たんだもんね？ くすくす。

126. SE: 服が擦れる音

127. さすが睡眠薬…優秀ね。ミツキも引かかってくれたし…彼氏さんも、ちゃんと引かかってくれた。くすっ、楽しい時間の始まりだね、ミツキ♪

128.アオイ、ちゃん……。

129.SE:主人公がベッドに倒れる音

130.FO



(ア)トラック12：告白パート

131.SE:おぼろげにバイブの音

① 主人公が眠っているため、ミツキ・アオイともにはっきりとは喋らない

132. (控えめに恥ずかし気に喘ぐ)

133. …んう……あう……ん……やあ……イツ、やあ……あつ、う……め、てえ……お、起き……、からあ……！

134. つ……ふ……て……くれ、なきや……でしよ……んう……ああ、うつ……。

135. …つ……はあ……い、や……なのお……ん……あ、あ……うつ……！

136.SE:椅子のギシギシ音 主人公、目を覚ます

① ここからミツキ・アオイともに普通に喋る。アオイは終始恥ずかしそうに  
② 適時、バイブの振動音

137. んう……ああ、あう……くすつ……やっとお目覚め？ 彼氏さんっ♪

138. あう……イツ、いやあ……なつ、う、うそお……もう、効き目……が？

139. くすう、ミツキい、止めちやだめだよー、ちゃーんと私のおマンコを舐めなきや。

140. 頭……いつもみたいに優しくなでてあげるから、がんばって舐めようねー？

141. うっ……そ、そんなあ……あうつ、イツ、い、イヤア……んっ、ん、はあ……イヤア、こ……なのっ……お、ねがつ、ば、イブ……だ、けでもっ……と、止めてえっ……！

142. もっ、やだあ……こ、なの……やつぱり、だめえ……！ (小さく悲鳴を漏らすように) いやあ、いやあ……いやあっ……！

143. やーだ、止めません。彼氏さんによく見せつけてあげなよー。

144. ミツキはおマンコにバイブを入れられながら、私のアソコをぺろぺろするのが好きなエッチな女の子だっさ♪ くすくす。

145.SE:椅子のギシギシ音

146. んう…ああ、や、なのおつ…うつ、あっあ、ああ、…イヤあ…あう…あ…んうつ、ぺろつ…ぺろつ…んっ、んう、んーっ！

147. (以下、ミツキ、適時アドリブ舐めと喘ぎ)

148. (アオイ、クンニされているため適時アドリブ喘ぎ)

149. そうそう、えらいえらい。彼氏さんの目の前でも、私に言われた通りに舐めてるね。

150. ご褒美に、顔面に愛液を塗りたくつてあげるよ。おマンコから顔を離さないでねー、くすくす。うつ…うつ、んう…！

151. SE: 水音

152. っ、はあ…んっ、ん…あっ、アオイ、ちゃっ、のっ…あ、熱いつ…！ あっ、う、ふ、う…！

153. ミツキ、どう？ 私のおマンコから溢れる愛液、美味しい？

154. ん…ふ…うつ、んっ、ぺろっ…ぺろお、ん…お、おいひい、よっ…アオイ、ひゃんっ…！

155. SE: 椅子のギシギシ音

156. くすくす、彼氏さーん、縛られてるんだから、そんなに椅子の上で暴れないでよおー？

157. そう簡単には解けないようにキツク縛ってるし、動けば動くほど腕にヒモが食い込んで痛いだけだからさー。くすくす。

158. でも、そうだなあ…ミツキのエッチな穴、彼氏さんにも見てもらおうかー？ ね、ミツキ。

159. う…いつ、いやあ……そ、んなの、恥ずかしっ…ぺろっ、ぺろぺろ…よっ！

160. くすっ、大丈夫。ミツキなら、恥ずかしさすら快感に変えちゃえるんだからさ。

161. …あ…あう…やらあ、おねっ、がっ…そ、なのお、いやあっ…いやだよおっ…！

162. ほら、ミツキ…ちょっと前にしたシックスサインみたいに、おマンコをこっちに向けて…私と彼氏さんに、よく見せてよ…。

163. (ミツキ、一時クンニ中止。恥ずかしがる) な、で…かあ…う…い、や、なのいつ…は  
ずか、しつ、のにいつ…アオイちゃんに、逆らえない、のおっ…うん…。

164.SF:シートが擦れる音

165. ああ…うつ…いやあつ…やあ…やつぱ、り…こんなの、恥ずかしいっ…恥ずかしいよ  
お…アオイちゃん…。

166. 彼氏さんがミツキのおマンコに釘付けになってるよー？

167. イヤらしいエッチなお汁を垂らしまくってるからさあ、目を背けらんないみたい。

168. (恥じらいながら) いやあ…見ないでえっ…わ、たしのお…エッチな、ところ、見ない  
でえっ…！

169. うっ、いやあ、ああっ…うつ…。

170. くすっ…彼氏さんってば、ミツキのエッチな姿を見て、興奮してる…。

171. なっ…そっ、なあ…うつ、な、でえっ…み、ないでえ、やらあつ…は、恥ずかしっ、の  
にいつ…おねがつ、や、もっ、これ以上、見ないでえっ…！

172. こ…なっ…エッチな、私、ダメエっ…！

173. もー、ミツキ、忘れちゃった？ クンニ、止めちゃダメだって言ってるでしょ？

174. そ、そんな、こと、言われてもっ…エッチな、とこ、見られてたらあ…私っ、彼に…あ  
う、ああ…イヤあつ…！

175. イヤじゃないよー。

176. それに彼氏さんが寝てる間、ずーっと私のおマンコを舐めてくれたんだから、今更恥  
ずかしがる必要くない？

177. (意地悪気に囁く) ちゃんと舐めて、ミツキ…。

178. (恥ずかしがりつつクンニ再開(台詞外も適時アドリブでクンニ))

179. う…うつ……ぺろっ、ぺろお…ぺろぺろ、んう、ぺろおっ…あう…んうつ、アオイ、ち  
やっ……ふーふー、しないでえっ…くうつ、くすぐりたいよお…！

180. あう…んう……んっ、はあ…うつ…！

181.SE:椅子のギシギシ音

182. (アオイ、台詞中も適時アドリブ喘ぎ)

183. くすっ、彼氏さん、もしかしてパニック中？

184. ミツキがこーんなにイヤらしい女の子になっちゃってさ、驚いてんでしょ？

185. んう……ぺろっ、ぺろお…んう、んっ…ぺろぺろ、ぺろおっ…。

186. ミツキさー、初めてのセックスは全然気持ち良くなかったって言ってたよ？

187. きっと童貞にありがちな…、独り善がりなセックスでもしてたんだろ？なあ、くすくす。

188. 違うのお？ くす、それは気のせいじゃないかな？ 私、ミツキから直接聞いたんだよ。

189. 全然気持ちよくなかった、ただ痛かっただけ、ってさ！

190. それでミツキを私のものにしたって気持ちに蓋ができなくなっちゃって、無理矢理セックスをしたんだ。今のあなたみたいに、睡眠薬を使って眠らせて…襲ったの。

191. 始めの内はさあ、ミツキの心にはあなたしかいなかった。

192. 私が何をして…嫌われちゃう、裏切ることになっちゃう、あなた以外の人間と…セックスをするつもりはないってさ、必死になって抵抗してた。

193. あなたへの気持ちは…本物だったよ？ くすくす。

194.SE:椅子のギシギシ音

195. だけど、くすっ…ミツキのキッツいおマンコをねえ、ペニバンで貫いてあげたら…堕ちちゃった♪ 今じゃあ、ほら、見て…。

196. んっ、ああ、うっ、んっ、ぐうっ…あっ、ああ、う、お、おくっ…ば、イブ…きっ、てるうっ……！

197. あう、ああ、いやあっ、もっ…とっ、めてえ、ああんっ、ああ…いやあ、やなのおっ…こっ、な、もっ…見られたく、ないのっ…あ、あう…んっ、ああ、ああ……！

198. いやあ、感じちゃうっ、のおっ…！

199. 悦んでバイブを受け入れられるようなエッチな子になっちゃったの♪

200. ぐーって、バイブを押し込んでいくとさあ…くすくす、可愛い声を聞かせてくれるんだから。

201.SE:バイブの振動音

202. あんっ、ああ、うつ、んっ、やらあ、もっ…やあっ、あっああ…いやあっ…！  
203. あんっ、はあ、あ、ああ、うつ、うーっ！

204. あなたとセックスをした時から想像もできないでしょー？  
205. 私がお願いをしたら、こうして…。

206. っ……あう、ん…あう、ぺろっ、ぺろぺろ…んう、じゅるっ、じゅるっ…じゅるじゅる  
じゅるじゅるう、あう……んっ！

207. 必死になって私のおマンコをぺろぺろ舐めてくれるの…美味しいって言いながら、愛  
液を啜ってもくれる。

208. それとね、一つ忘れちゃいけない大事なことがあってね…。

209. あなたのおちんちんとは比べ物にならないくらい、ペニバンプレイは気持ちよかった  
って、教えてくれたよ。

210. あう…ふ、んっ……あっ、ああ…あう…。

211. ……シツキ、クンニはもういいよ。こっちに来てくれる？

212. (クンニ終了のため、アオイアドリブ終了)

213. (シツキはバイブ続行中なのでアドリブ継続)

214. う…うん…アオイ、ちゃんっ…。

215. SE:シートが擦れる音

216. くすっ…シツキ、キス、しょっか。

217. (キス音) …んっ、ちゅっ、ちゅ…んう、くすっ…ん、ちゅっ、ちゅ、んう、んっ…。

218. くすくす、ね…私の唾液、飲んでくれる？ (唾液をこぼす) じゅる…じゅるっ…。

219. (美味しそうに飲む) あう…あ、ああ…んっ、ん、ぺろっ、ぺろーっ、んっ、ごくっ、  
んう…あう、アオイ、ちゃっ…。

220. (楽しそうに) もう、恥ずかしくもなさそうだね。彼氏さんの前で、私の唾液を美味し  
そうに飲み込んだじゃうなんてさ。

221. あっ、ごめーん、今日はあなたにお別れを言いに来たの。

222. だから彼氏さんじゃない、元…彼氏さんっ♪

223. くすくす、そう言えばまだ言っていなかったけど…私がねえ、あなたと連絡を取らないように言っていたんだあ。ミツキの身も心も完全に、私が手に入れるためにさ。

224. くすっ、しかもその間、ずーっと私の家にいたの。大学にも行ってないし、ご飯を食べたり、寝ている時以外はエッチばかりしてた。

225. もっ…アオイちゃん、説明、なんて、いらな、い、からあっ…！ あう、んっ、あっ、ああ、あっ、もっ、ダメっ、おくっ、き、きもちっ…ば、イブ、とっ、てえっ…！

226. 何言ってるのよ、ミツキ。

227. ちゃんと説明しなきゃ、納得して別れてくれないじゃない。

228. そっ、そう、だ、けどお…！

229. いやあっ、もっ、やあっ、見られたくっ、ないっ、のっ…！

230. ああ…あう、んっ、あ…いやあ…！

231. 今更何言ってるんだか…。さっき、私の唾液を美味しそうに飲んでくれたくせに。

232. それに…彼と別れるつもりで来たんだから、このくらいどうってことないでしょ？

233. う…うんっ…！ いやなのおっ、私っ、まだあっ…！

234. (言い聞かせるように) くすっ…あなたはもう、私のもののなの。

235. 私の言うこと…素直に聞いてくれるよね？

236. ……ううっ…うん…アオイっ、ちゃっ…。

237. そうそう、その意気よ。

238. (主人公に囁く) くすくす、ミツキはねえ、私の言うことなら何だって聞いてくれるの。

239. ミツキ、彼に経験済みのお尻の穴を見せてあげて。

240. (恥ずかしそうに) う、うん…。んんっ…。あ、う…あ、アオイちゃん、が、そ、い  
う、ならあ…。

241. SE: シャーツが擦れる音

242. ほら、私の言った通りでしょ？

243. この子は恥ずかしがりながらも、私がいえば何でも聞き入れてくれる。

244. ♪ そうそう、可愛い可愛い彼女ちゃんのお尻の穴も開発済みよ？

245. 始めは嫌がってたけど、玩具を突っ込まれて気持ちよくなっちゃったのかなあ？

246. ペニバンを求めるようになってさ、何度もお尻でイカせちゃった♪

247. んっ…あ、あう…いやあ、もっ、言わないでっ、よおっ…！

248. いやあう、あんっ…ああ、うつ、いやあ、あっ…！ あうんっ、はあ、うつ、んっ。

249. くすっ、お尻の穴を見られて興奮してんのー？ 本当にエッチな子になったねえ。

250. SE:バイブの音

251. う…んっ、はあ、あっ、ああ、あう、いやあ…やらあっ…あ、アオイひやつ…もっ、ば、  
イブ取ってえっ…！ う、はあ、あっ、うつ、もっ、イ、イキ、たいっ…！

252. くすっ、まだイカせてあげられないから、一旦バイブは切っておくねー。

253. SE:バイブを切る音 (ミツキ、アドリブ喘ぎ終了)

254. (切なそうに／かつ快感に溺れた感じで) あう…あっ、ああ、あ…。

255. ああ……わっ、たしっ、もっ……だっ、めっ、君の前ッ、なのっ、わかって、るっ、の  
にいつ…いやあ、…もっ、…やらあ、イキ、たいっ、のっ…！

256. だーめ、まだイカせてあげません。

257. ミツキってば、一回イっちゃったら、わけがわからなくなっちゃうんだからさ、元カレ

さんに言いたいこと、言えなくなっちゃうよ？

258. …やあっ、いやあ…いつ、もんっ、いわないいつ…！

259. ワガママ言わないでよ。これはさ、ミツキのためでもあるんだからね。

260. ちゃんんと彼と別れるためには必要なことなの。ほら今のうちに言っておきなつて。

261. …う…うつ…わかつ…たよおっ…

262. (申し訳なさそうにしつつ、心からアオイを求める) えっ、と、こんな格好でごめんな

さい……。でも、君に伝えなくちゃいけないことがあるの。

263. 君がね、悪いわけじゃないんだけど、君じゃ…満足できなくて、もう私、アオイちゃんじゃないとダメなの。だから…今日は、お別れを言いに…来たんだ。

264. SE: 椅子のギンギン音

265. くすっ…シツキ、えらいね。よく言えました。

266. FO



(ア)トラック13…アオイとのセックス

267.SE:椅子のギシギシ音

268.くすっ、あなたがミツキとの別れを受け入れてくれれば…ミツキは完全に私のものになるっていうわけ。

269.でも、せっかくの機会だし…あなたのことも、味見しちゃうかなあ。ミツキはそこで見てて。

270. (戸惑いつつ) あ、アオイ…ちゃんっ？

271.ミツキはね、私の体と…テクニクの虜になったの。あなたも、どう？

272.味わってみたいでしょ？ どうせ縛られて動けないんだから…素直に楽しんじやいなさいよ。

273.つい最近まで童貞だったようなあなたには…刺激的過ぎるかもしれないけどね。

274.SE:チャックを下ろす音

275.くすっ、あらあら…ミツキのエッチな姿を見てたら、興奮しちゃったんだ？

276.おちんちん、硬くなってさ…勃起してるう♪

277.くすくす…本物のおちんちんを見たのなんていつぶりだろお、私も楽しくなってきちゃった。

278.SE:椅子のギシギシ音

279.でもさすが元カップル同士、同じようにちゃんと抵抗してくれるんだ。

280.いいよー、じゃんじゃん抵抗しなー。抵抗してくれたほうが燃えるしね♪

281. (呆気にと取られて弱弱しく) アオイ、ちゃん…なに、私、こんなの…聞いてないよ…？

282.言っていないからねえ。でも、いいじゃん？ ミツキだって、別れを告げに来たんだからや。

283.ほら、おちんちん、すぐく元気になってるの。こんなの見ちゃったら…無視できるはずなくない？ 私は楽しみたいよー？ どうせならさ。

284. (弱弱しく懇願) ダメッ、やめてえっ…アオイちゃんっ！

285. くすっ、おちんちん、いただきまーす♪

286. (アオイ、フェラ開始(ミツキのセリフ時にもアドリブでフェラ音))

287. んっ…ん、ちゅっ…んう、はぁ、ん、ぷうっ、んちゅっ、ちゅっ…。

288. くすくす、あなたさぁ、今、どんな気持ち？

289. 彼女の前だったのに、他の女の子におちんちんを咥えられるのはさー？

290. ちゅっ、んっ、ちゅば、ちゅばあっ、んっ、ん、んう…ちゅ、ぷうっ、ちゅば、ちゅば、  
んう、んっ…！

291. アオイちゃっ、だめ、そん、なの…だめっ、やめてよお…。

292. うっ…ど、して…君も、おち、ちん…そんな、立たせてえ…！

293. ちゅばあっ、ちゅば、んんっ、んう、ちゅば、う…んっ、はぁ、ちゅ、んっ、ちゅっち  
ゅ、んうっ、ちゅ、れーろっ…れーろっ…れろれろっ、れろれろ…んっ、んう、ちゅば  
あっ…！

294. ミツキい、くすくす、この人はさ、フェラされてるのを彼女に見られて興奮してるんだ  
よ。

295. 我慢汁だって、いーっぱい溢れさせちゃってさぁ、くすっ、声も堪えきれてない。女の  
子みたいに可愛い声で啼いてんの。

296. お願いッ、もっ、アオイちゃん、やめてえっ…！

297. 私っ、もっ、アオイちゃんだけを見るって、彼のことはもう忘れるって、決めたの！ そ  
れなのに、なんで…アオイちゃんが、彼を苛めるの？

298. そんなのダメエっ、もっ、やめて、イヤぁ…イヤぁ…イヤあっ…！

299. んう、ちゅっ、はぁ、んっ、ちゅばっ、ちゅばぁ、じゅるっ、じゅるっじゅるじゅるう  
っ、んっ、んう、あむっ、あむ、んっ、んーっ！

300. あーぁ…ミツキは何がイヤなお？

301. もしかして、まだこの人のことが好きでさぁ、私と…この人がセックスするの、見てら  
んないっていうわけ？

302. あ……あう、うっ…っ、わかつ、ないっ…でも、やなのおっ…！

303. そっ、わかんないんだ…。好きでもない彼氏を私に取られて興奮してるのかなぁ？

304. それとも、私がミツキのことを捨てて…男と付き合うんじゃないかって考えちゃって

さ、イヤなのかなあ？

305. んっ、ちゅっぱあつ、んう、ちゅば、ちゅば、んっ、んう、っ…はあ、ちゅっ、んう、ちゅっちゅ、じゅるうっ、じゅるっ、じゅるるるう！

306. (興奮してきている) う…んっ…はあ…うっ、んう…ああ、うっ、あ…。

307. ミツキ、興奮し過ぎだよ。そんなんじや最後までもたないって。

308. まだ彼にフェラをしてるだけのにさ。くすくす。

309. んっ、ちゅっ、ちゅちゅ、んう、はあ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるう！ じゅるっじゅるっ！

310. っ、くすっ、おちんちん、私の口の中でめちゃくちゃ硬くなってるよ。

311. もう、セーし出しちゃいたくて堪んないの？

312. ろくに喋ったこともない女の子に無理やり犯されて？

313. でも、これで納得できたでしょ？ ミツキがさ、あなたの元を離れて…私のところに来た理由が。——いや、来たっていうよりかは、私が奪ったってのが正しいかな。この場合。

314. うっ…や、めてえっ…アオイちゃんっ、これ以上もっ、何も…言わないでよお…。

315. んう？ くすっ、今みたいにさ、身動きの取れないミツキの口にタオルを突っ込んで…おマンコに指を入れたり、丁寧に舐めてあげたりしたの。

316. くすっ、始めはなあ、やっぱりイヤがってたんだよ。あなたの愛撫が気持ち良かったわけじゃないんだろうけど、気持ち的にはね…ずっと好きでいたんだ。好きでいたからこそ…私のテクニクに堕ちて、裏切りたくない。そう言ってた。

317. ま、結果はね、今のミツキを見てもらったらわかるだろうけど、ちゃんと堕ちてくれたよ。あなたを捨てて…私の所に、ね？ 来てくれたの。

318. あ、アオイちゃん…もっ、ダメだよ…私、我慢、できなくなっちゃうっ…！

319. (アオイ、アドリブフェラ一旦終了)

320. くすっ、あなたが射精を我慢できないように、ミツキも…堪えられないってさ。

321. さっきまで散々バイブで苛められてたのに、今は何もしてあげられてないからね…おマンコがキュンキュン疼いちゃってるんじゃないかなあ？ くすくす。

322. けーど、あなた達二人にはもうすこし我慢してもらおうからね。すぐには楽にさせてあげないよ。

323. (性器を舐める音) れーろっ…れーろっ…れろれろれろ、れろれろれろ…。

324. くすくす、我慢汁溢れさせすぎじゃない？ 私のフェラ、よっぽど悦んでくれているんだ？

325. ミツキが初めてしたフェラよりずーっと気持ちいいでしょ？

326. これでも私さあ、自信があるんだよ。ミツキ以外の子も…こーやって墮とした経験があるくらいだからさ。くすくす。

327. んっ…れろっ、れろっ、れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…んっ、ペーろっ、ペーろ、れろっ、れろれろ、んうっ、んう…はあ、ちゅっ、んっ、れーろっ…。

328. あっ、そうだー、ミツキ。我慢できなくなっちゃったら、好きなだけオナニーしていいからねー？ こんなオカズ…そうそうないんだから。

329. うっ……いつ、やあっ……それ、だけはあ…イヤなお……！

330. くすっ、そう言う割には…しっかり腰を動かしてるみたいだよ？

331. イヤらしい刺激を求めているじゃん。

332. …ち、ちがう…もんっ…そういうん、じゃっ…ないっ、もんっ……！

333. くすくす、ミツキのウソツキ。私に通じないよ…そんなウソはさ。

334. それに、オナニーした方が彼氏も燃えるんじゃないかなあ？

335. 女の子のオナニーを見たこともないだろうし、必死におマンコに指を出し入れするとこを見てたら…びゅっびゅっ…っばいせーしを出すと思うなあ♪

336. …って、ごめーん。おちんちん放っておいちゃったね。

337. そろそろイカせてあげるからさあ、私の口の中…あなたのせーしでいっぱいにしてみせてよ。

338. ミツキだって、あなたがイク瞬間を見たがってるわよ。ね？

339. (アオイ、アドリブフェラ再開)

340. (興奮した感じで) ううっ、やだあ、見たくないのにいつ、君すぐ気持ちよさそうな顔、してるぅ……！

341. ああ…うっ、すっごい…激しいい……い、いいなあ……。

342. 私も……アオイちゃんに、イカせて…もらいたいなあ…ふふっ。

343. くすっ、素直なミツキ。いいよ、ミツキは後で十分に気持ちよくしてあげるから、今はまだ…自分の指で、おマンコを気持ちよくして…。

344. うっ…：そんなぁ、自分でなんて、できっこ、ない…もん…っ…。

345. そう、『今はまだ』…できないかぁ…。ざーんねん、ミツキのオナニー、見たいのになぁ。

346. そ、そんなこと…言われても困るよお…。

347. 苛めてるわけじゃないんだから、そんな悲しそうな顔しないで？

348. それじゃあミツキは…私たちのエッチを見てくれたらいいから…。

349. (舐める音) ペーろっ、ペーろっ…：ペろペろ、ペろペろ、んっ、んう…：ペろペろペろペろ…：ペろペろペろペろ…：っ、くすっ、いいねえ、彼氏のおちんちん気持ちよさそうだよお、舐めれば舐めるほど我慢汁がどんどん出てきてさぁ、すっごい臭いの♪

350. こんな匂いを嗅<sup>か</sup>いで興奮するような変態ではないんだけどさぁ、やっぱりおちんちんを見てると楽しくなっちゃって、もーっと激しくしたくなっちゃう♪

351. (激しいフェラ音) あーむっ…：んっ、ちゅっ、ちゅ…：ずちゅっ、んちゅう、はあんっ、ちゅば、ちゅばあっ、ちゅばちゅば、んっ、んう！

352. んー、もー、イキそー？ 彼女の前でちゅばちゅば、じゅるじゅるされてイキそうかなー？ いいよー、せーし出しちゃいなって。我慢してもいいことないし、どんなだらない姿を見せたって、私もミツキも別に気にしないからさー？ くすくす。

353. ほら、イッちゃいなー、ぜーんぶ飲み込んであげるよ。

354. (激しいフェラ音) んっ、んう…：ちゅばっ、ちゅばあ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるっ！ じゅるっじゅるっ！ じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるうっ、じゅるるるうっ！

355. 出せー、出せーっ！ せーし出しつくせよーっ！ じゅるるるうっ！ じゅるるるうっ！ じゅるるっ、じゅるるうっ、じゅるるるうっ…！

356. (アオイ、アドリブフェラ終了)

357. SE: 射精音

358. (飲み込む音) あう…：っ、んっ、ふ、うっ、ごっ、くんっ…！

359. ううっ、うええっ、ちよっ、せーし濃すぎい、ミツキと会えなくなっからかも、全然抜いてなかったの？ ミツキが帰って来てから、セックスしまくるつもりだった？

360. …残念だねえ、フェラをしてあげたのがミツキじゃない、他の女でさ、くすくす。

361. でもお、女なら誰でもいいって口？ ミツキじゃなくともさー、上手にせーし出せたもんねえ？ くすくす。

362. ミーツキ、この人は別にあなたじゃなくてもいいってさ。気持ちよく抜いてくれるなら誰でもいいような奴なんだって。

363. やっ…ち、違う、もんっ…アオイちゃんが上手だから、出しちゃっただけで…！ 彼は、そんなヒドイ人じゃないよ。

364. それに…私だって…アオイちゃんのエッチが上手過ぎて…我慢がでさなくなってさ、…虜になっちゃっただけだもん。

365. くすっ、褒めてくれてありがとう、ミツキ。快楽に従順なミツキ、大好きだよ。くすくす。

366. でも、一回抜いただけじゃ…セックス、とは言えないよね？

367. ミツキの処女を喪失させた、あなたのおちんちん、私にも味合わせてよ。

368. SE: 椅子のギンギン音

369. ちょっと、待って、アオイちゃんっ、それはっ、違うよっ…！

370. セッ、セックスをするのは、違うと思う…！

371. もー、フェラしてるところを満足げに見れたんだから、セックスだって大丈夫だよー。

372. 他人のおマンコにいーっぱい射精しちゃう彼のこと、よく見てなさい。

373. おマンコが疼いてきたら、ぐちゃぐちゃ、ぐちゃぐちゃ弄ったっていいんだから。

374. うっ、そんなぁ…。

375. くすくす、ほら、彼だっておマンコに入れたそうにまた勃起してる。

376. くすっ、何のテクもない処女とは違う、せーしを搾り取りたくて必死におちんちんを締め付けるおマンコもいいわよ。私が…あなたの上に跨ってさ、いーっぱい動いてあげるから。

377. あ、あう……あっ、ああ……だめえっ…！

378. SE: 挿入音 騎乗位

379. んっ…んう……ふ、っ……んっ！

380. あっ……ああ、うつ、くすっ、案外いいおちんちん持ってるじゃん。

381. くっ、うつ……ああ…腰、下ろして、まだ、ちょっと、しか…入ってない、のにつ、うつ、

ああ、んう…す、ごくっ、熱くて、カリの部分が私の弱い所を刺激してくれんの。

382. ううつ、ああ……ふ、うつ、ん…やつ、うつ、けどお、まだ全部入れてなんかやらないんだから。

383. SE:挿入音

384. っっ…う……ふ、うつ、んっ……くすくす、おマンコの割れ目を先端でぶにぶになぞるだけえ。くばくばしてる秘密の場所に入れてもらえないのお、んーう……んーう……はあ、んーっ…くすっ、ミツキとの初めてのセックスでは一回しか入れられなかったんだよねー？

385. それ以降、ぜーんぜんオナニーをしてないおちんちんは…くすくす、体を椅子に縛られたままでも、元気だねー。

386. 逆レイプされてるようなもんなのに、おちんちん勃起させてさー、早くおマンコを貫きたくて堪えないんだー？

387. 彼女だっって見てんのに、おマンコの入り口で焦らされて、物欲しそうな顔すんだもんねー？

388. くすくす、あっ…すっごい、すっごいよー、私が適当なこと言う度に、ビクッビクンっっておちんちんを震わせてさー、おマンコを突いてくんのー。(わざとらしく喘ぎ) あんっ、ああんっ、あんっ！ くすっ、あなたもおマンコが欲しいんだねー？

389. ねー、欲しいなら欲しいって言いなー？ ちゃーんとミツキの顔を見ながらさ、くすくす。

390. アオイちゃんの意地悪うっ…！ やだあ、私、そんなの…聞きたくないよお…！

391. くすっ、ミツキ、ぜーんねんでした。彼は、私のおマンコが欲しいんだってー。

392. ミツキと同じで、欲望に忠実に従ってさ…囁いてくれたよ。おちんちんで、おマンコをズコバコさせて欲しいって。

393. …いいよー、そろそろ腰を下ろしきって、柔らかい膣でおちんちんを包み込んであげるねー！

394. SE:適度に水音

395. (腰を下ろすときの吐息) んっ……んっう…はあ……んっ、んう……んーっ！ んんっ、

ああ…んう、勃起おちんちんがあ、メリメリって、私のおマンコを押し広げながら入ってくるよお…！

396. くうっ、ああっ、んう…くすっ、見てえ、ミツキ。

397. おちんちんがねえ、一気に私の深いところにまで、届いてさあ、あっ…んう、ふ、うっ…ああう、膣イキ、しちゃうかもお♪

398. (興奮しきった感じで) あ…ああ、いちいち説明しないでよおっ…！ アオイちゃん、すごく気持ちよさそうな顔してるのお♪

399. あっ、ああ、あっ…何度も、何度もアオイちゃんの中に…君のおちんちん、入ってるうっ…！こ、こんなの、初めてえっ…私まで、ドキドキ、しちゃうっ…！

400. 中が…キュンキュンしてえ、自分で、アソコを…いじいじしちゃうたいよおっ…！

401. くすっ、くす…んっ、ああ、うっ…くす、ミツキい、私と彼氏のセックスを見ながら、おマンコ熱くさせてんでしょ？ 今まで必死に我慢してたんだろうけど、そんな我慢、無駄よ。オナニーしちゃいなって。

402. この人だって、ミツキのオナニーを見たらもっと興奮するだろうし、私だってどうせなら硬くて太いおちんちんを味わいたいからさあ♪

403. (ミツキ、オナニー／アドリブ喘ぎ開始)

404. んう…ああうっ、んう…アオイちゃんのアソコからあ、ぐちゅぐちゅイヤな音がしてるう。聞いているだけでえ、指があ、指が止まなくなっちゃうのおっ！ ああ、んっ、あ…うっ…んっ、ん…ああ…！

405. んう…ああ、ふ…本当にエッチな女の子になったね…はあ、うっ…ミツキ。

406. くすっ、ね、彼氏さん、こんなおちんちんじゃ物足りない…本当のセックスを、私がミツキの体に教え込んであげたんだよ。

407. んっ…はあ、うっ…ん、んっ…あなたもどう？ 私が教える本当のセックスに、興味ない？

408. ほら、こうやってね…ゆっくり腰をあげて…んっ、ぐうっ…！ 一気に落とすの！ おちんちんがあ、奥う、奥まで、貫けるようにいっ…ああっ、んっ、はあ、ひいっ、うっ…腰の動きを何度も繰り返すのよ。

409. 童貞を卒業したばかりのおちんちんにはこれで十分。んっ…ああ、うっ、ん…はあ、ううっ、ほらあ、どんどんせーしを出したくなってきたでしょー？

410. ぎゅーっっておちんちんを締め付けられてさあ、あっついおマンコで扱かれるの。ああ…んっ、はあ、…うっ、ん…くすっ、でも、それだけじゃない。ミツキがさ、あなたの痴態を見つめてるの。彼女でもない女の子に犯されて、今にもイキそうにおちんちん



を震わせてる無様な姿をさ！

411. (自分の世界に没頭している感じで) う……あつ、んう…セツ、クスう…二人が、セツクスしてるう…あつ、ん、はあ…うーっ…すぐくエッチだよおっ…！

412. ああ…ん、はあ……うっ、私の指もおっ…どんどん激しくなってるえ…あう、あつ……ん、はあ、うっ…クリトリスもお、気持ちいいよおっ…！

413. くすっ…あんなにエッチなミツキ、見たことないでしょ？ あなたには見せなかった、エッチなことが大好きなあの子の本性。

414. くすくす、あの子に見せてあげましょうよ。女の子におちんちんを犯されて、びゅっびゅーってせーしを出しちゃう情けないところ。

415. ほらあ…んっ……くう……あ、うっ、んっ……せーし、出しちゃいなさいよお……！

416. びくっ、びくっっておちんちん震わせてさあ、出すのー、びゅっびゅっびゅっびゅっ、私の中に…出してえっ……！

417. (果てる寸前) んっ…んう、はあっ……っ、あつ、ああ……んう、(軽く果てる) あああっ…！

418. SE:射精音

419. (ミツキ、アドリブ終了)

420. (呼吸乱れ気味) ううっ……ああ、あ…ふ、う…。

421. くすっ、中…あったかあい。いーっぱい出したのねえ、せーし。

422. ミツキに見られてるってわかってるから、興奮しちゃったのかな？ (褒めるように) 変態。

423. でもお、くすっ…私も軽くだけどイッチやったし、人に見られて興奮するのはお互い様、かな？ くすくす。

424. おちんちん、ごちそうさまでした♪

425. FO

(ア)トラック14…アオイとミツキのセックス①

426.SF:椅子のギンギン音

427.んーっ……でもお、あなたのおちんちんはもういいかなあ。

428.女の子の体の方が柔らかくて可愛らしいし、私はやっぱり…ミツキが欲しいの。

429.ここからはさ、また見てくれる？ 私とミツキの…愛が溢れるセックスを♪

430.くすくす、ミツキ…オナニーはもう終わり。そろそろ私と遊ぼ。

431. (恥じらいつつ) あ……うつ…うん…オナニーだけじゃ…私も足りないの。

432.二人がセックスしてるところを見ながら、自分で弄ってたら…:こんなになっちゃった。

433.ごめんね……私がエッチな体になっちゃったのは、君のせいじゃないの。多分、元からね、私…エッチが好きになる素質があっただと思う。それをアオイちゃんが…開花させてくれた。本当の私を…見つけ出してくれた、ただ、それだけだから…。ごめんね…。

434.くすっ、いいねえ、私がエッチなミツキを開花させてあげたって言い方♪

435.彼氏じゃない、私だから…ミツキをこんなエッチな子にしてあげることができたんだ、くすくす。

436.ふふっ、だから…何度でも言わせて欲しいの。本当に、ごめんなさい…。

437.私、もう…アオイちゃんがいないと、生きていない体になっちゃった…。

438.くすっ、彼にその証拠を見せてあげよっか、ミツキ。

439.私がいなくて生きていけなくなっちゃった、証拠をね？

440. (激し目のキス音) ん…:んうっ、ん、はあ、ちゅっ、ちゅ…:んう、ん…:ちゅっ、ちゅっ、ちゅ…。

441. (恥じらいながら) うんっ…ふふっ。(控えめなキス音) ちゅ…:ちゅっ…:ん、ちゅっ…。

442. …:ミツキ、私の唾液…飲んで？

443. 彼には、飲まされたことなんてないだろうけど、私のなら何度だって…:飲めるよね？

444. う、んっ… (キス音) ちゅっ、んっ…:んっ、ん、ちゅっ、ちゅう、んっ、はあ… (唾液

を吸る)じゅるっ、じゅるっ…んっ、んう、ん…じゅるるるうっ!　じゅるるるうっ!  
(飲む)んっ、ごっくっん…。

445. くすっ、よくできました。端っこから漏れちゃった残りは…ちゅるちゅるちゅるう、ペーろっ…私が飲んでおいてあげたよ。

446. 二人分の唾液…くすっ、すぐくイヤらしくてさ、ドキドキしてきちゃった。

447.?　あーあ、彼氏さんのおちんちんまた勃起してるう♪

448. 女の子同士のキスを眺めるのにハマっちゃったのかなあ?

449. それとも寝取られて興奮してんの?　あなた、ドMなのね。くすくす。

450. でもお、キスだけで終わると思ってんのお?　ミツキのココはさ……。

451. ぎゃあっ…あっ、や、いきなり、指を入れないでよおっ、びっくりしちゃうじゃん。

452. ごめんごめん。でも、彼も気になってると思うよ。ミツキのココが、一体どうなってるのか。

453. あーあ、オナニーをしたからか、ちょーっとキスをしただけで愛液がヌルヌルになってるのー。こんなになってる中、キスだけで終わっちゃうんじゃミツキが寂しい思いをしちゃうよねー?

454. う…うん……。ごめんね…アオイちゃんになら、何をされてもいいの。

455. もっと、もっと…エッチなことをして、いーっぱい気持ちよくして…。

456. (わざとらしく)それじゃあねえ、素直でエッチなミツキちゃんには…まず私の体を隅々まで舐めてもらおうかなあ。その後で壊れちゃいそうになるくらい、気持ちよくしてあげるからさ。

457. (嬉しそうに)ほんとうに…?　ふふっ、わかったあ!　アオイちゃんの体、ぺろぺろするう!

458. あっ…ごめんね、ごめんね…これ以上、はしたない姿を見たら君は…私のことをキライになっちゃうよね。でもね、エッチなことを教えてくれたアオイちゃんのが、だーいすきなんだ。

459. ふふっ、ねー、アオイちゃん。最初はどこを舐めたらいい?

460. うーん、そうだなあ、私がミツキを襲った日と同じで、足、かなあ?　指の付け根や間をくまなく舐めて。

461. (アオイ、アドリブ開始／小さく吐息漏らす)

462. うん、わかったあ…。(舐める) ペーろっ…ぺろぺろ、ペーろっ…んっ、んう、ぺろっ、ぺろ、ぺろぺろ、ぺろぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…ふふっ、ちょっとしょっぱい味がするう、これ、アオイちゃんの汗なのかなあ？ ぺろぺろ、ぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…ぺろぺろ…

463. くすっ、ねえ、ミツキ。私の汗、どう？ 美味しい？

464. うん、美味しいよお。

465. しょっぱいんだけど…アオイちゃんの汗だからかなあ、全然イヤな感じがしなくてさ、美味しいの、ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…

466. そう、よかったあ。それじゃあもつと味わっていいよ。

467. でも、その前に…こう言ってくれる？

468. ? (言わされているように) アオイちゃんの、汗が私にとって貴重な水分です。これがないと…私は満足に喉を潤わせることが出来ないの…。

469. くすっ、よく言えました。好きなだけ、じゅるじゅ啜っちゃって。

470. …ふふっ、もー、アオイちゃん、わざわざ言わせなくたって、私もそう思ってるよ。

471. だって、アオイちゃんの汗はね、本当に私好みなんだ。それに喉を潤すには最適でさ、いっつも、(興奮気味に) ぺろぺろして、ぺろぺろして、ぺろぺろして…！ 指の先にチュッて、キスをしてあげたいぐらいなの。

472. くすっ、なら、キスしてよ。私から離れない、他の人間になんか目もくれない、ただ私だけと一緒に居ると、誓ってさ。

473. わかった…誓うよ。…んっ…ちゅっ…！

474. ふふっ、アオイちゃん以外の足の指はぺろぺろしない、アオイちゃんだけを見て…アオイちゃんだけに従うの。だって、私の世界を変えてくれたのは、アオイちゃんだから。

475. …ぺろっ、ぺろっ、ぺろぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろぺろ…ペーろっ、ペーろっ、ぺろぺろ、ぺろぺろ…

476. (くすぐったそうに) う、うんっ、ミツキ、いいよ。その調子…前よりも舐めるのが上手くなってるね。これも私が毎日調教をしてあげたお陰かな、くすぐす。

477. (嬉しそうに舐める) んっ…ぺろっ、ぺろぺろ、ペーろっ…ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…。じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるうっ！　じゅるるるうっ！

478. ふふっ、君には…ただ謝ることしかできないよ。

479. こんなに美味しいアオイちゃんの、汗を…じゅるじゅる吸っちゃうとさ…これ以上の人はいないなって、気付いちちゃったの。

480. ぺろぺろぺろ…。ぺろぺろぺろ…。んっ…んう、はあ、っ、んっ、ん…ぺろぺろぺろ…。ぺろぺろぺろ…。

481. くすっ、あなた、残念ね。

482. ミツキの身も心も…完全に私のもの。あなたの気持ちが入る余地は…もうない。

483. イヤらしく私の体を舐め付く彼女の姿を見ながら…おちんちんを勃起させてたらいわ。

484. (必死に舐める) んう…あうっ、んっ、ちゅっ、ちゅ…ぺろぺろぺろ…。ぺろぺろぺろ…。ペーろっ、ペーろっ、ぺろぺろぺろ、ぺろぺろぺろ…。

485. (心も堕ちているように) ね、アオイ、ちゃん…足の次は…どこを舐めたらいい？ 私 29  
の舌でさ、もっともっと…アオイちゃんの体をべとべとにしたいの。いつも、アオイちゃんがしてくれたように。

486. そうだなあ、じゃあ…私のお尻、舐めてくれる？

487. (小さく驚きながら) お、お尻いつ…？ 私、まだ、そんなことしたことない、よ？

488. い、いくらアオイちゃんだからって、お尻を舐めるのは…は、恥ずかしいよ。

489. うーん、なら私が先にミツキのお尻を舐めてあげよっか？

490. 一人が先に舐めたらさ、恥ずかしくも何ともなくなるよ。お尻を舐めるのは当然のことなんだって、エッチなミツキの頭は勘違いしちゃうはずだからね。

491. ほら、ミツキ…私の方にお尻を突き出してくれる？　お尻のしわを一本一本丁寧に伸ばすように、舐めてあげるから。

492. ううっ……わかったあ、アオイちゃんの言うことは…絶対、だもんね。ふふっ…。

493. SE: シーツが擦れる音

494.くすっ、さすがは従順なミツキ。そのまま…お尻の穴まで、よく見せて…。

495.っ…あう、やつ、やっぱりい…は、恥ずかしいよお…。

496.何言ってるの。私がお尻を舐めてあげたのはこれが初めてなんかじゃないでしょ？

497.彼氏の前だからって、恥ずかしがるふりをする必要はないの。

498.いや、もっと気持ち良くなるために…わざと恥ずかしがってるのかな？

499.恥ずかしくて興奮しちゃうタイプだもんね、ミツキは。くすくす。

500.ううっ、意地悪言わないでよお…。

501.くすっ、意地悪なのはどっち？ 彼氏の姿なんてもう目に入ってるやないくせに。

502.私とのセックスに集中し過ぎちゃって、ここが彼の家ってこと、忘れちゃってる？

503. (恥じらいつつ) っ…ああっ、ごめん、ね。私…アオイちゃんのものになっちゃったから、君のことを考えてる余裕も…ないの。ごめん…。

504.くすっ… (意地悪く笑い舌なめずり) ペろーっ…。

505. あっ、ああ、ああんうっ！ アオイちゃんう…やつ、私、まだあ…彼に謝ってる途中なのにい…。

506. そんなこと言ってるえ、ミツキのお尻の穴は私に舐められてヒクヒクしてるよ？

507. ペろっ、ペろっ…ああん、愛液がお尻にまで流れて来てみたい♪

508. ペろペろペろ…ペろペろペろ…んっ、んう、ちゅっ、ちゅ、じゅるーっ！

509. (アオイ、アドリブで舐め音開始)

510. (恥じらいつつ) あっ、ああうっ、んっ、ああ、んう…はあ、うっ、んっう…キューっ  
て締まってるお尻の穴目がけてえ、舌がぐりぐり入ってきてるよお、あんっ、ああ、う  
っ、んっ…はあ、んーっ！

511. くすくす、ねえ、ミツキの彼氏さん、しっかり見てなー？

512. これがアナルを調教された女の子のイヤらしい姿だよお。

513. ペろっ…ペろっ…ペろペろペろ…ねえ、ミツキ、お尻の穴、気持ちいい

い？ 私に教えてくれるう？

514. (恥ずかしそうに) っ、はあ、うつ、んう…ああう、きもち、いつ、よっ…ああんっ、はあ、うつ、んう、ん…ヌルヌルしてる舌でえ、ぺろぺろされるのっ、いい、のっ、いいのっ！

515. ミツキはさあ、お尻で感じられるエッチな女の子になったんだもんねー？

516. こんな風にさあ、ミツキの体をイヤらしく仕立て上げられる人は私しかないよおー。

517. この男には無理な話。私とこの人じゃ経験人数が違うし、ミツキのエッチな姿が見たいって気持ちも…天と地の差ぐらいある。ねえ、ミツキもさ…そう思うでしょー？

518. ぺろぺろ…ぺろぺろ…んう、ぺろっ、ぺろっ、ぺろぺろ！ じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるうっ！

519. あっ、ああ、んっ、はあう、ん、あう、ひいつ、うつ、んう…アオイちゃんのお陰でええ、こんなにエッチになりましたあ…！

520. ああうんっ、あんっ、はあ、うつ、んう…でもおっ、もっとお、もーっとエッチなことを知りたいからあ、アオイちゃんと一緒にいたいのお、いっぱい、いーっぱい、んう…はあ、うつ、んっ、ああ、あっ、私にエッチなこと、教えてえっ…！

521. くすっ、もちろんだよ。私だって…ミツキのイヤらしいところ、まだまだ見尽くしてないし。こんなに素直に愛してくれる女の子…初めて見たもん。手放すはずないでしょ？

522. う、ああ…っ、んっ、はあ、うつ、うーっ、んう…。

523. (アオイ、アドリブ舐め終了)

524. だから、ほら…彼にさ、今までのミツキと違うってこと、見せつけてあげよ？

525. 次は…ミツキの番。私のお尻…ぺろぺろ舐めて？

526. 私の言うこと…何でも聞いてくれるもんね？ くすくす。

527. (恥ずかしそうに) うっ…ん…やつ、やって、みるう…。

528. SE: ネーツが擦れる音

529. っ…っ、いくよ……舐める、からね…。

530. くすっ、いいよ、ほら、舐めて…ミツキ。

531. (ミツキ、アドリブ舐め開始（きこちなく）)

532. (恐る恐る) んう…ペーろっ…ペーろっ…ペーろっ…ペーろっ…。

533. んっ…はぁ、うっ、んう、アオイちゃっの…お、お尻、だぁ…！

534. (アオイ、台詞外でもアドリブ喘ぎ開始)

535. くすっ、彼氏さん、しっかり見てなね？ あなたが愛したはずの女の子が…他人のお尻をぺろぺろ舐める様をさ。

536. ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…んうっ、ぺろっぺろっ、ペーろっ…ん、あっ、アオイちゃんのお尻、美味しい。美味しいよお、んっ、ぺろっ、ぺろぺろっ、ぺろぺろぺろ…！

537. んう…はぁ、うっ…ん…くすっ、ほら、私の言った通り…。

538. ミツキは…私の言ったことなら何でも聞いてくれるの。

539. お尻を舐めるのだって嫌がらない…んっ…あ、うっ、ふ、う…んう…あっ、あぁ、あっ…ミツキ、舐めるの上手だねえ。でも小さくて可愛い舌でさ、穴をぐりぐりしてもいいんだよ。さっき、私がやったみたいに…。

540. うん…わかったぁ…。

541. (舌をねじ込む) んっぐーっ！ んっ、んぐぐぐうっ、んっ、んう、んーっ、ちゅぽっ、ちゅぽ、んっ、んっ、ん…ペーろっ、ペーろっ、ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…んっ、ふふっ、えへへ、アオイちゃんのお尻い、ヒクヒクしてる♪

542. ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…ぺろっ、ペーろっ、んぐぐぐうっ、んぐぐぐうっ、(舌を出し入れ) じゅぽっ、じゅっぽっ、んうっ、んっ…んん…。

543. くすっ、ミツキったら、本当にエッチな子。

544. 私のお尻を美味しそうに舐めてさぁ、丁寧に舌をねじ込んでくれる。

545. くすくす、お尻、舐めるの初めてなのに…抵抗せずに舐めてくれるの、うれしいなぁ。

546. 私のお尻だから…舐めてくれるんだよね。

547. んっ…ぺろっ、ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…じゅぽっじゅぽっじゅぽっじゅぽっじゅぽ…んっ、ぐうっ、んっ、んぐぐぐうっ、んぐぐぐうっ、ふふっ、お尻の穴がぁ、私の唾液でべとべとになってきてるね♪



548. 美味しい美味しいアオイちゃんのお尻い…すぐくすべすべしててえ、綺麗なのお。舐め応えもあってさあ、ふふっ、だーいすきっ、ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…ぺろぺろぺろ…  
ろ…！

549. ふっ、んう…んっ、はあ…んっ、くすくすっ、私のお尻、大好きになってくれてありがと。

550. (アオイ、アドリブ喘ぎ終了)

551. (ミツキ、アドリブ舐め終了)

552. でも、ミツキのアソコ…もう限界なんじゃない？

553. お尻を舐めながら興奮しちゃってさ、腰をくねらせてるの、私気付いてたよ？

554. 多分、彼も気付いてたと思う。くちゅくちゅくちゅくちゅ、イヤらしい音が漏れてるんだもの。くすっ。

555. それに…ミツキってば、彼の存在を忘れちゃうくらい…私のお尻をイヤらしく舐めてたでしょ。

556. ふふっ、そろそろさ…彼に、絶頂を迎えるところ、見てもらおっか。

557. どんなにイヤらしい女の子になっちゃったか、教えてあげないとね。くすっ。

558.FO

(ア)トラック15…アオイとミツキのセックス②

559. ミツキ、足を広げて…彼におマンコを見せてあげなよ。

560. 愛液を溢れさせて、今にも絶頂を迎えたがってる秘密の場所をさ、くすつ。

561. (恥じらいながらも従う) うっ…うん、アオイちゃんが、そう言うなら…。

562. SE:シートが擦れる音

563. じ' こう…かなあ…？

564. くすくす、そんなんじゃ彼がおマンコを見られないよお。

565. そうだなあ、ベッドに横になって、片足だけを立ててくれる？

566. …じ' こんな、感じい…？

567. そうそう、そうしてくれたら…私もうまく跨げるし、貝合わせ、しやすいよ。

568. ミツキだって、直接おマンコに刺激が欲しかったでしょ？

569. ほら、今まで何度もしてる通り…おマンコ同士を擦り合わせよっか。

570. それでさ、彼に見せつけてあげるの。私たちのあーいを♡

571. う' うん……アオイちゃんの、アソコが欲しいよお…。

572. 一緒にコスコスしてえ、気持ちよくなりたいたい。

573. くすつ、やっぱりミツキは素直で可愛いね。

574. 快楽に食欲でさ、こんなちんけな男のセックスじゃ満足できるはずもない。

575. 私と知り合えてよかったね？ じゃないと、一生エッチで満足できないまま…こんな  
しょーもない男とセックスしてるだけだったんだから。

576. ねえ、彼氏さん、ちゃんとしてよ？

577. (囁く)くすつ、あなたの大好きな彼女…(意地悪く)いや、元カノのおマンコを滅茶  
苦茶に犯すから。…ミツキ、準備はいい？

578. い' いいよお…私のことお、いっぱい犯してえ…！

579. 止めてって言っても、止めてなんかあげないからね？ くすくす。

580. ふふっ、アオイちゃんは意地悪だもん、絶対に止めてくれないことくらい、わかってる。

581. さすがはミツキ。私のことなら、何でも知ってるね。

582. それじゃあ、…彼に見せつけてあげよ。私たちが一緒に気持ち良くなるところをさ。

583. SE: 水音

584. あ…あう、んっ…はあ、うっ…んっ！

585. ああ、あっ、アオイちゃんの、あ、アソコがつ、スリスリ、スリスリ、してるっ！

586. (アオイアドリブ開始<セリフ途中にも喘ぐ>)

587. んう…あ、ふっ、う…くすっ、当たり前でしょ！

588. 必死になって腰を振ってさ、おマンコ同士を擦り合わせてんだから、くすっ。

589. っ、あ、ああ、あっ、ふ、うっ、ん…あ、いつ、いい！

590. アソコがつ、じゅくじゅく、してっ、るっ！

591. (ミツキアドリブ喘ぎ開始<心から気持ちよさそうに>)

592. くすっ、ミツキのおマンコはさあ、十分に濡れてたもんねえ。

593. くちゅくちゅ、くちゅくちゅイヤらしい音を立ててさあ、どんなにエッチな場所か、強調してくれてんの。

594. SE: 水音

595. ほらっ、その彼聞いているー？ あなたの大事な彼女のおマンコさ、愛液が溢れまくって、びっちゃびच्याに濡れてんの。

596. 初めてのセックスでさー、こんなに濡らしてあげられたー？

597. できなかったよねー？ 自分が気持ち良くなるのに精いっぱいだし、ミツキが気持ちよくなれるのかどうかなんて、気にしてる余裕、なかったでしょ？

598. っ…あっ、ああ、んう、はあ、っ、ああ、あっ、んっ…！

599. あんっ、ああ、あっ、いっ、いっ、いーっ！ きもち、いっ、よっ…！

600. (アオイ、アドリブ激し目)

601. くすっ、こんなに乱れたミツキの声、聴けなかったんだよね？ だから、今…そんなに勃起してんじゃない？

602. 私の女になったミツキのやらしい姿を見てさ、興奮してんだよ。好きな子が犯されてるのを見て…楽しんでんだ。

603. あーっ、すごい、おマンコ、柔らかくて、すごっ、こんなの、取られたくないなあ。

604. なーんて、あなたにミツキを奪い返すような意気地はないか。あつたら、既に私のことを張り倒してでも、取り戻してるもんね。

605. あっ、んう、ん、はあ、あっ、ああ、あっ…やんっ、は、はげ、しっ、アオイ、ちゃっ…！

606. あん、あんっ、はあ、うっ、んっ、あんっ！

607. あーあ、ミツキったら、気持ち良過ぎて軽く飛んでんね。

608. くすっ、んっ…あっ、ふっ、んっ…！ ほら、ココをさ、こうし、てっ…こう、やっ、て、激しく擦ってやんのっ…！

609. くすくす、あなた知らないでしょー？ ミツキの弱いところ。

610. ミツキはねえ、クリトリスがめっちゃくちゃ弱い。

611. 私がちょっと刺激しただけでイッちゃうぐらいには…開発しちゃった♪

612. ああ、んっ、はあ…んっ、あんっ、はあ、いつ、んっ、いつ、やあっ、だ、めえっ、

613. アオイ、ひゃっ…わ、たしっ、おかしく、なるうっ…！

614. アソコ、擦られるの、きもちっ、いつ、あんっ、ああ、んっ、あんっ！

615. ミツキ、彼に伝わるようにわかりやすく言ってあげなよ。

616. アソコ、じゃ男のこの人にはわかんないよ。ちゃんとおマンコって言ってあげないとさ。

617. あっ、ああ、んっ、はあ、うっ、おマンコっ、いつのっ、きもちいつ、のっ！

618. (壊れたようにオマンコを繰り返す) はあ、うっ、あんっ、ああ、あっ、ああんっ、あんっ、おマンコお、おマンコお、おマンコがあっ…！

619. くすっ、やーっぱりミツキは、私の言うことなら何でも聞いてくれんね。

620. ミツキに快楽を覚えさせて、セックスの楽しさを刻み込んだのは私だから。たかだか処女を奪っただけのあなたは…到底敵わない。

621. ミツキは…私のもの。今日のセックスを最後に、あなたは二度とミツキに触れることが出来なくなる。ミツキのエッチな姿を見られなくなる…それを十分に理解しながら、ミツキの痴態を眺めるといいわ。くすくす。

622. あ、ああっ、あつ、はあ、うっ、んっ、あんっ、はあ、うっ、んっ、あんっ、いつ、ア  
オイひゃっ…エツ、チ、すきっ、もっ、とっ、コスコス、してえっ！

623. あっ、あんっ、はあ、うっ、んっ、ひいっ、うっ、あんっ！

624. くすっ、こんなにエッチに貪欲なこの子の姿、あなた見たことないもんね。

625. 私しか知らない、ミツキの可愛くて堪らない姿なの。

626. 本当は誰にも見せずに、私が独り占めしてたかったんだけど…最後だもんね。

627. あなたにも見せてあげてんのよ。

628. エッチな女の子を見て勃起しちゃうのは男の子の性だから仕方ないけど、おちんち  
んに触らせてもないのに、眺めてるだけで射精したら口汚く罵ってやるんだから。

629. 人の玩具相手に、興奮して…硬くさせてんだもん、そのくらい我慢しなさいよね。

630. SE:水音

631. (激し目の喘ぎ) あっ、ああっ、んっ、あんっ、あんっ、はあ、うっ、んっ、あんっ、  
ああっ、あ、だ、めっ、やっ、もっ、イッ、イッ、イッちやうよっ、おマンコ、ぐちよ  
ぐちよに、なっ、て、足、ガクガク、してっ、やっ、だっ、イッくっ…！

632. くすっ、いいよ、ミツキ、好きなタイミングでイッちやいなよ。

633. いつもだったら、イカせてくださいって、エッチな感じで言ってくんなきゃダメだけど、  
今日は特別。私のおマンコに犯されて、イッていいよ…！

634. ぐうっ、あっ、んっ…ふっ、んっ、んーっ！

635. あーんっ、あんっ、ひっ、あっ、うっ、ん、ふっ、あ、ああ、んっ、ひっ、うっ、やっ、  
あっ、んっ、イッ、くっ、もっ、イッちや、うっ！

636. あんっ、ああ、んっ、あ、あ、ああっ、ああんうっ！ イッ、くうっ！ あっ、あああ  
んっ！

637. SE:シートが擦れる音

638. くすくす、今日はいつもより早くイッちやったね。おマンコの辺りが愛液でべっとべと  
だよお♪

639. (呼吸を整える) ああ……ふうっ……う……あ、アオイちゃっの、エッチな、お汁もっ、

出てる、よ…ふふっ。

640. くすっ、知ってる。だってミツキのおマンコ気持ちいいんだもん。

641. でも、私はまだイッてないんだからね？ もうちょっと、このまま擦ってあげる。

642. SE:水音

643. あっ、ああっ、あんっ、あ、イッ、たばっ、かりなの、にいつ…！

644. やっ、あんっ、ああ、いい、よっ、おマンコ、きもちよくっ、て、堪ん、ないいつ…！

645. …んっ、あっ、ひいつ、うっ…私もっ、きもちいい、よ、こんな、エッチ、今まで、したことない、くらいっ！

646. くすっ、でも、これだからっ、寝取るの、止めらんないのよ、ねっ…！

647. ミツキのことが好きな彼の目の前で、犯してやってさ、私のものだって誇示してやんの。

648. くすくす、ああ、本当にいいわぁ、興奮し過ぎちゃって、よだれが止まんない、じゅるるるうっ！ くすっ。

649. ね、ミツキもそう思うでしょ？ 彼の前でするセックス、めちゃくちや気持ちいいわよね？

650. 見られてるってわかってるのに、体はひどく私を求めてさ、もっと、もーっとエッチなお汁を撒き散らしたいってさ！

651. (支離滅裂気味に／＼と会話が成り立たないように) あっ、あんっ、はぁ、うっ、んっ…あんっ、あ、ああぁ、エッチ、すきっ、すきっ、アオイちゃんとの、エッチ、すきっ、すきっ、好きなのおっ！ あんっ、あんっ、あ、ああ、あっん！

652. 嬉しいこと、言ってくれんね。

653. もう彼のことなんか眼中にない、私のことだけを見てくれる。

654. んっ、あんっ、はぁ、うっ、んっ、おマンコ、びちょ、びちょーっ、あんっ、ああ、はぁうっ、んっ、あんっ、いっぱい、濡れ、て、アオイちゃんのっ、愛液、もっ、まざっ、てるうっ…！

655. くすっ、イヤらしくてエッチなミツキ…可愛いよ。

656. ミツキなら…絶対に堕ちてくれるって、初めて犯した時からそう思ってた。

657. 彼氏を裏切る？ 違うわ。ただ彼氏に魅力がなくて、私に惹かれただけ。

658. ミツキは何も悪くない。彼に、ずーっと好きでいられるだけの人間性と、心の底から満

足できるような…テクニクがなかったただけなもの。

659. くすっ、私なら…ミツキを満足させてあげられる。愛して…あげられる。

660. そう何度も言っただけで…これなら十分ね。

661. ミツキはもう…私がいないと生きていけないエッチな体になった。

662. あっ、うっ、うーっ、アオイっ、ちゃっ、きもち、いつ、いつ、もっ、彼とのエッチな  
ん、てっ、覚えてない、ぐらいつ、いつ、よっ、きもちっ、いっ、のっ！

663. あんっ、ああ、あっ、うっ、ふ、あっ、ああんっ、あ、あっ！

664. くすっ、だってえ。ミツキが言ってるよー？

665. あなたとのセックスなんて覚えてないくらい、私とのセックスにお熱だってさ。

666. 残念だったねえ、あなたの所にはもうミツキは戻ってこない。

667. ミツキのエッチな姿、最後にしっかり目に焼き付けなよっ！

668. くすくす、私、優しいでしょー？ くすくすくすくす…。

669. くっ…うっ、んっ……はあ、うっ、ん、んっ、あんっ！

670. (声を震わせながら) あ…ああ、うっ、ああ…あっ……いつ、お、マンコお、おかしく  
っ、なるう…あんっ、あ、ああ…アオイちゃんのっ、おマンコお…きもち、いいっ、ク  
リトリスもっ…あんっ、ああ、あんっ、コスコスされてっ、クリイキ、しちゃっ、うう  
っ…！

671. もー、ミツキってば、私が教えてないようなイヤらしい言葉も使っちゃってえ。

672. クリイキしちゃいそうなくらい、気持ちいいんだ？

673. あんっ、はあ、うっ、んっ、あんっ、ああ、あっ、あーっ！

674. イッ、いつのっ、クリ、イキっ、しちゃう、のっ！

675. あんっ、はあ、うっ、んっ…あ、ああっ、あんっ、ひっ、うっ、あんっ…また、イッ、  
ちゃうっ！

676. アオイちゃんのっ、おマンコっ、気持ちよく、て、イッくっ…！ イクう、イッくよおっ  
…！

677. くすくす、いいよ。今度は二人でイッちゃおうか。私も…そろそろ我慢の限界だしね。

678. ほらっ、もーっと激しくしてあげるから、仲良く、イこう！

679. SE: シーツが擦れる音

680. あんっ、ああっ、あ、っ、うっ、ふっ、あっ、やあ…ほんっ、とに、はげ、しっ、あんっ、やっ、今までよりっ、ずっ、とっ、はげし、くてっ、きもちいいっ、のっ！

681. あん、ああ、はあ、うっ、あんっ、ああ、ひっ、ひいっ、うっ、ひいっ、ああ、っ、ああ、あっ、いっ、ひっ、うっ、あ、あっ、アオイちゃっ、一緒に、イクっ、イクっ！

682. くすっ、彼にはできなかったでしょ？　こんなこと。二人で仲良く絶頂を迎えるなんてさ。

683. 二人の気持ちは通じ合ってなかった、あなたの気持ちだけが一方通行だった。

684. 残念ね…そんな独り善がりなセックスは本物のセックスとは呼ばない。ただのオナニーよ。

685. くすくす、あなたはこれからもずーっとオナニーを続けてなさい。

686. ミツキは…これからも私が気持ちよくさせてあげるんだから…。

687. あっ、ひっ、いっ、あんっ、ああ、あっ、いっ、ふっ、あっ、もっ、イツくっ！

688. セックス、すきっ、きもちいいのっ、すきっ、アオイちゃっ、すっ、きいっ！

689. ミツキ、ありがと。

690. 私も大好きだよ。ミツキの体も、私を好きになってくれた、そのエッチで素直なところもね。

691. あっ、はあ、っ、ふっ、あっ、ああ、いっ、うっ、ふふっ、アオイちゃんに、大好きって、言っ、もらえたあっ！

692. へへっ、うれしっ、なっ、うれしっ、くてえっ、あっ、んっ、はあ、うっ、あっ、すぐっ、イっ、ちゃいそっ、あっ、ああっ、あんっ！

693. くすっ、その彼ー？　今のちゃーんと聞いてた？

694. ミツキ、私に大好きって言われてうれしいってさ。

695. くすくす、ミツキの心が…あなたを向いていないこと、これで確定したよっ…！

696. …あっ、はあ……うっ、ふ、んっ、あ、ああっ…私も嬉しくて、これ以上、我慢できないや。

697. 見てなさいよ。愛し合ったカップルが、本物のセックスで絶頂を迎えるところをね！

698. あっ、ああ、んっ、ひっ、あっ、んっ、あああっ！

699. んっ、ふふっ、アオイちゃんのっ、声っ、かわいいっ、もっと、もっと、聞かせてえっ…！



700. くすっ、いいよ、ミツキになら…いくらでも聞かせてあげるから…そろそろ、イコっか、  
701. 二人分の愛液が絡み合って、エッチな音を立ててるのを、聞き、ながらっ、イこうっ！

702. SE: 水音

703. あっ、ああんっ、ひっ、あっ、ああ、っ、うっ、んっ、ひっ、あっ、イッくっ、好きな  
人のっ、おマンコに犯さ、れてっ、イっくうっ！

704. あんっ、はあ、うっ、私もっ、イクよっ、もっ、げん、かいつ、ああ、あっ、はあ、う  
うっ、うっ、ああっ、あっ、ああんっ！

705. SE: スーツが擦れる音

706. (ミツキ、アオイ、アドリブ終了)

707. (余裕なく呼吸を乱しながら)…ふふっ、こんなに激しくイッちやったの、いつぶりだ  
う。

708. くすくす、やっぱいいね…。寝取りセックスってさ。

709. ああ…あっ…あっ…ひいっ…うう…アオイちゃんっ…ふふっ…だーいすきっ…。

710. FO

(ア)トラック16：3P

711.SE:椅子のギンギン音

712.くすっ…彼女が犯されてるのを見て、おちんちんバッキバキになってんじゃん。

713.もしかして、寝取られるのが趣味だったりして？

714.そーんなに、ミツキが犯されてる姿で興奮したんだ？

715.…あなたのおちんちん、今すぐにでも…ミツキのおマンコをハメたそうにしてるし。

716.いいよ…最後の思い出作り、手伝ってあげる。ミツキ、この人の拘束、解くよ。

717.っ…アオイちゃんが言うのなら、いい、けど…解いて、どうするの？

718.くすくす…思い出、作ってあげんのよ。

719.えっ…どういう、こと？

720.SE:椅子から解放してあげる

721.ミツキが、あなたじゃなく、私を選んでくれたって、そう…聞いてたんだから、さすがにもう、力づくで私をどうにかするはずないよね？

722.（ミツキに声をかける）ミツキも、いいでしょ？ 最後にさ、思い出としてこの人とセックスしてあげて。

723.ふふっ、なんだ、そういうことかぁ…。うん…いいよ…。本物のおちんちんの感触…久しぶりだし、アオイちゃんがそう言うなら…最後の思い出に、私のおマンコ…貸してあげる。

724.ね、君…仰向けになってよ。私が上になって動くから。

725.SE:シートが擦れる音

726.くすっ、ミツキらしくない言い方しちゃって…私に似たんだね。

727.でも愛し合う者同士はどんな似てくるって言うし、おかしいことではない、か。

728.うん…だって、私…アオイちゃんのことを好きだから…ふふっ。

729.くすっ、ありがとう、ミツキ。

730.それじゃあ…彼が未練を残さないように、思い出、作ろうか。

731.ほら…元カレさんのおちんちん、飲み込んであげて。

732.今までのエッチを眺めててさ、勃起しちゃうってみたいだし。くすくす。

733.ふふ…もちろんだよ。けど、もう少しだけ…彼のおちんちんを見てたいの。

734.だって、すごく久しぶりなんだもん。

735.不思議だよね、三か月間付き合ってたはずなのに、一度しか見たことがなかったし…初めて見たときは直視できなかったんだけど、今は…ふふっ、触ることだって、見つめることだってイヤじゃない。

736.おちんちんは…私の体を気持ちよくしてくれるものだって、わかってるから。

737.君の…おちんちん、始めはさ、ただ痛かったただけけど…私の方がセックスに慣れたから、今はちゃんと…気持ちよくなれるんだよ。

738.（不安感ゼロ）こんな…エッチが大好きになっちゃった私のことなんて…もう好きじゃないよね？ それに、私はもう…君のことを何とも思っていない。君には何の興味もないの。ただ…おちんちんだけが欲しい、それだけなんだ。

739.私の中に入りたそうに硬くしちゃってさ、ふふっ、可愛いおちんちんだなあ。

740.ミツキ、もしかして彼のこと焦らしてんの？

741.物欲しそうなおちんちんをナデナデしながら、見つめちゃってさあ、くすくす。

742.そんなつもりはないよ。ただ…愛おしいなって、（強調するように）このおちんちんが。

743.もう、好きでもなんでもないけど…今にも射精したそうにしているおちんちんは…ふふっ、可愛いから。…って、ごめん。話しすぎちゃった。

744.もう、我慢の限界だよね？ ふふっ、君のおちんちん…飲み込んであげる。

745.（性器を飲み込むときに吐息）んっ……んう…はあ…うっ…んっ……。

746.SE:挿入音

747.あっ…はあ、うっ、ん…っ、ふふっ、君のおちんちん、はいつてえ、あっ、んう、くる、よっ…！ あんっ、はあ、ふ、うっ、あっ、ひいつ、うっ、ん、ああ！

748.っ、ふ、う、あ、ああ、おち、っ、ち、あっ、ああ！

749.（ミツキ、アドリブ喘ぎ開始）

750.くすっ、どー？ 最後に味わうミツキのおマンコは。

751. 私もねー、何度も指で味わったけど、キツキツに締め付けてきていいでしょー？

752. なんて、ミツキの初めての相手はあなただもん、この子のおマンコの良さはもう知ってたかー。

753. (そこまで乱れていない喘ぎ) んっ…はあ、あっ、あ、う、ふっ、あっ、ああ、あっ、久々のナマおちんちんっ、きもち、いっ、よっ！

754. ふふっ、君との初めての時、はっ、ぜんっ、ぜん、きもち、よくっ、あっ、はあ、ふっ、なかつ、たけど、あんっ、ああ、はあ、うっ、ふ、今なら、わかるっ、のっ、セックス、っ、いっ、よねっ、きもち、っ、いっ！

755. くすくす、その割に、ミツキい…あなた、全然、よがってないじゃない。

756. やっぱ私がペニバンで突いてあげたほうが、気持ちいいんじゃないの？

757. つい最近童貞を卒業したような奴と、私とじゃ、全然テクニクが違うしさ。

758. あっ、ああ、っ、はあ、うっ、うっ、んっ、アオイちゃっ、のほろがっ、いっ、きもちのっいっ、ところ、おちんっ、ちんで、ゴリゴリ、してるっ、はず、なのにつ、あっ、ああんっ、はっ、まだ、足りないっ…！

759. やっぱりねー。最後の思い出にーなんて言ったけど、この程度のセックスで喜べるのは、彼だけかー。なーんの気持ちも入ってない、ただヤッやってるだけだっのに、おちんちんは悦んじゃうんだもんねー？

760. …そうだ、ミツキ。

761. 最後なんだからさ、彼への気持ち、ちゃんと伝えてあげたら？ 今はもう、興味がない、っつさー！

762. あっ、うっ、んっ、はあ、あっ、ああっ、あっ、す、すきっ、好き、だったんだよおっ！

763. ずっと、ずっとっ、好きだったのおっ、優しくって、あんっ、はあ、うっ、ふっ、私だけ、をっ、見て、くれてっ、あんっ、あ、ああ、うっ、はあっ、んーっ！

764. でもっ、今はっ、違う、のっ、ああ、あっはっ、うっ！

765. くすくす、今は…どう違うの？ 彼に、教えてあげなよ。

766. っ、はんっ、あ、あっ、っ、うっ、くうっ、あっ、今、はっ、アオイちゃっ、がす、好きッ、好きッ、なのーっ！ あんっ、ああ、っ、ひいっ、うっ、あっ、こっ、んなっ、あっ、なまぬ、るいっ、セックスをっ、するよっ、なっ、あんっ、はあ、うっ、君じゃっ、ないっ！

767. ずっと、ずっと、あんっ、ああっ、ひいつ、うつ、あっ、んっ、はげし、つくて、エッ、チ、なっ、セツ、クスをしてっ、くれるっ！ アオイちゃんがあ、す、好きいっ！  
あっ、ああっ、あっ、あーんっ！

768. (誇らしげに) だつてさ。ざーんねん、あなた、捨てられちゃったわね。

769. 清楚で、なーんのイヤラシさの欠片もなかったはずのミツキが…、私の手によって大きく変わっちゃった。エッチが大好きな女の子になって、テキトーなセックスしかできないようなあなたは…いらないってさ、くすっ。

770. 怒ったってムダ。あなたはミツキの心まで…縛り付けておくことができなかったんだから。

771. あう、はあ、うつ、んう…あう、ひいつ、うつ、ああ、アオイ、ちゃんっ、んっ、奥う、奥まで犯してえ！

772. あーらら、もうあなたのおちんちんになんか期待してないってさ。

773. あなたとセックスしてるっていうのに、私にもっと激しいセックスを望んでる。

774. くすっ、そうだ、あなたには何物にも代えられない素敵な思い出をプレゼントしてあげるわ。

775. なかなかないわよ？ 二穴同時挿入をされてアンアン喘いじゃう彼女の姿を見れるなんて。

776. っ、ふう…あっ、あんっ、あーう、あーっ、んうっ！

777. ミツキはね、ナマのおちんちんとはいっても、短くて大して太くもない、その上自分を気持ちよくしてくれないようなモノよりも、奥まで激しく刺激してくれるペニバンの方が好きなの。

778. (囁くように) くすくす、何、その顔、不満そうね。

779. でも、ミツキがそう言ってるじゃない。私に、もっと奥まで犯して欲しい、ってさ。

780. アナルで感じて、キュンキュンおマンコを締め付けちゃうエッチなミツキ、最後に堪能しなさいな。

781. …ミツキ、今…アナルを…犯してあげるからね。少しだけ…彼を抱き締めてお尻を浮かせてくれる？

782. うっ、ああ、あっ…うつ、んっ…お尻、にもっ、おちん、ちん、ほっ、しいっ！

783. ずこっ、ずこっ、してえっ…！

784. くすっ、もちろんよ。アナルに…私のおちんちん、突っ込んであげるわ！

785. (吐息) …うっ……ふう、あっ、んっ……ううっ……！

786. SE: アナルへの挿入音

787. (激しく喘ぐ) あっ、はぁ、うっ……んっ、あぁ、あぁあっ、お、お尻にいつ…アオイちゃっ、の、おちん、ちっ、来たぁぁ！ あっ、あんっあんっ、あぁっ！

788. あっ、あぁ、ふうっ、あっあぁ、あっ！

789. (アオイアドリブ吐息) 所々吐息を交えながら

790. (主人公を煽るように) くすくす、毎日アナルを犯してあげてたらねえ、こーんな変態になっちゃったんだぁ、ミツキ♪

791. あなたと初めてセックスをした時とは別人でしょ？

792. アナルにペニバンを突っ込まれて、たっくさん啼いちゃうの。

793. もっと、もっと突いてえ、おかしくなっちゃうくらい、いっぱいイカセテえっ！ ってさ、私に懇願するのよ。

794. あうーっ、うーっ、あっ、はぁ、んっ、あんっ、あ、あぁっ、きもち、いつ、あっ、いつ、お尻もっ、おマンコ、もっ、きもちいつ、のっ、あっ、あぁん、あんっ、はぁ、うっ、んっ、やっあっ、す、すご、いーっ！

795. くすくす、ミツキのおマンコで締め付けられちゃって、もう射精しちゃうそうなのー？  
796. それともミツキのイヤラシさに当てられちゃって、君も女の子みたいにアンアン喘ぎたくて仕方ない？

797. んっ、はぁ、うっ、あっ、あぁっ、あ、ふたつのっ、おちっ、ちんっ、きもちいつ、よっ！

798. あっ、んっ、はぁ、ううっ、あんっ！

799. いいじゃん、あなたも啼いちゃいなよ。ミツキのおマンコ、気持ち良くて堪んないんでしょ？ セーし、びゅるびゅるって出したいんだよね？

800. あっ、あぁ、んうっはぁ、うっ、あっ、あぁ、あっ、ズコズコっ、あっ、あぁ、いつ、きもちいつ、のっ、おちっ、ちんっ、すごっ、いつ、あんっ、はぁ、うっ、あんっ、はぁ、ひいつ、う、あっ、おマン、コもお、お尻もお、あんっ、あぁ、あっ、うっ、ヌルヌル、してっ、あっ、あぁ、ふふっ、いーっぱい、イヤラシい、音、聞こえるうっ♪

801. ミツキ、本当に気持ちよさそうにしてんね。

802. よかったじゃん、最後に彼女のこーんなエッチな姿が見られてさ。くすくす。

803. それに君にも聞こえてんでしょ？

804. ミツキの穴から聞こえてるくちゅくちゅ、じゅばじゅばってイヤらしい音が。

805. ミツキねえ、このエッチな音が大好きなんだって。

806. 音を聞いているだけで興奮できるし、エッチな気分になれるからって教えてくれたの。

807. あん、あんっ、ああっ、あっ、ずこずこっ、ずこずこっ、つ、はあ、うっ、あんっ、  
はあ、いっ、あっ、ああんっ、耳までえ、犯されるっ、みた、いっ！ あっ、はあ、う  
っ、あんっ、ああ、あっ、あ、あ、ああっ、ああーっ！

808. あれー？ 彼氏面してたくせにそんなことも知らなかったんだー？

809. って、ごめーん、彼氏面じゃないね、一応、彼氏だったんだっけ？

810. ミツキのことを一度も満足させてあげられなかった、貧相なおちんちんの持ち主さん  
っ。くすっ。

811. …あっ、それともう一つ…。ね、私とキス、してよ、ミツキの元カレさん♪

812. いいこと、教えてあげるからさ。

813. (ディープキス音) んう…ちゅっ、ちゅ…ん、はあ、ちゅっ、ちゅ…くちゅっ、くちゅ  
…んっ、んう…んっはあ、ん、ちゅっ、ちゅう…じゅるっ、じゅるっ…！

814. くすっ、あーあ、だらしのないなあ、よだれを垂らしてさ。

815. そんなんだから、女の子一人満足させてあげられないんだよー？

816. (二人のキスなど意に介さず快楽に溺れている) あっ、あんっ…ああ、ふうっ、あっ、  
ああ、おマンコっ、きもちっ、いっ、あんっ、ああっ、ああ！

817. あんっ、あ、ああっあっ、お尻もつきもちいいっ、きもちいいっ、よっ、お尻っ、ガバガ  
バになっちゃうくらいいっ、あっ、ああっ、あんっ、はあ、うっ、あんっ、いいのっ！ い  
いのっ、いいのーっ！

818. くすっ…(ディープキス音) んっ、ちゅっちゅっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるう  
っ！ はあ、んっ、ん、ん、ん、ん、じゅるっ、くちゅっ、くちゅ…じゅるるるう  
っ！

819. …ねえ、気付いた？ 今私たちがキスをしてようがミツキには何も関係ない。

820. ミツキはただ…アナルとおマンコを同時に犯されて快楽に溺れてるだけ。

821. わかる？ この子にとってはもう…あなたはただ、チンコを提供してくれるだけの男。

822. そんなもんなの。

823. つ、はあ、んっ、あんっ、あ、ああっ、いつ、いつ、よっ、おちっ、ち、ビクビクって、してえっ、あんう、あ、ああっ、びゅるっ、びゅるって、せーし出したそうにっ、してるっ！

824. あっ、ああ、んう、はあ、うっ、は、ひいつ、いつ、あっ！

825. そーだ、最後なんだし、中にめいっぱい出しちゃいなよ。

826. 私がどんなにミツキを気持ちよくしてあげられても、できないことがたった一つだけあるの。それが何だか知ってる？

827. くすっ、それは…ミツキの膣内<sup>なか</sup>をせーしで満たしてあげること。

828. 私にも、本当のおちんちんがあったら、いくらでも中に出してあげたいところなんだけど…体的につくり的にできっこないからね。あなたが…ミツキの膣内<sup>なか</sup>を満たしてあげなよ。最後の…素敵な思い出としてさ。

829. つ、あ、っ、あん、はあうっ、うっ、あっ、ん、だ、してえっ、私の膣内<sup>なか</sup>っ、きみのっ、せーしでっ、いっぱい、してえっ！ あっ、あんっ、はあ、うっあっあんっ、ああ！

830. ほら、ミツキもそう望んでる。叶えてあげなよ、ミツキの望みを。ミツキの彼氏としてさ。

831. 私もっ、手伝ってあげるから！ ぐっ…うっ、はあ、あっ…うっ…！

832. あっ、ああ、んっ、はあ、あっ、あんっ、あっ、もっ、とっ、はげしっ、くっ、なったあ！

833. あんっ、あっ、だめっ、あっ、そこっ、あっ、きもちいつ、よっ、あっ、ああんっ、はあ、あうっ、ああ！

834. くすっ、ミツキ、我慢する必要はないからね。イキなくなったら、イッちゃっていいの。

835. つはあ、あっんっ、あんっ、はあ、いつ、うっ、あ、っ、ああっ、あんっ、あっ、

836. ふ、かいっ、あっ、ああっ、んっ、おマンコの奥、奥う、えぐ、って、イッ、ちゃうよっ…！



837. ああ、あんっ、はあ、うっ、ん、ああ！

838. あなたも…セーし出しちゃいなさいよ。

839. ミツキに中出しできる機会なんて、これで最後なんだから、ちゃんと楽しみなさいって。

840. ほらっ、あっ、うっ、ミツキに対する気持ちとか、溜まってるもん、ぜーんぶ膣内<sup>なか</sup>に吐き出しなさいよっ！

841. あっ、はあ、うっ、あっ、あ、ああ、出してっ、出してえっ…私の、膣内<sup>なか</sup>、熱い、のでっ、満た、してえっ！ あっ、あんっ、ああ、ひいっ、あっ、ああ、あっ、私もっ、あっ、ああ、イッくうっ、あっ、ああ、あんっあっ、イっくくうっ！

842. (満足そうに果てる) あっ、あっ、ああっ、ああああ、ああんっ！

843. んっ…ぐうっ…あっ、はあ…うっ！

844. SE:射精音

845. くすっ、どうだった？ 思い出作りのセックス、気持ち良かったでしょ？

846. ミツキも、あなたも。

847. (ミツキ、アオイアドリブ終了)

848. (嬉しそうに呼吸乱しっつ) ふふっ…ふふう…すごい、私の膣内<sup>なか</sup>…君の…出した、セーしで…いっぱいだよお…♪ すごく、温かくて…ぽかぽかしてきちゃう。  
849. それにアオイちゃんの、お陰で…お尻もっ、ふふっ、満たされたよお…♪

850. くすくす…思い出、作れたね。彼氏さんっ。

851. うんっ、ふふっ、私も…よかったよ。これで…何も思い残すことはない。

852. 私には…君はもういないから、君は…私じゃない、もっと愛してあげられる人、見付けてね。私は…アオイちゃんと、エッチで…刺激的な日々を送るから…。

853. FO

(ア)トラック17…エピソード

854. 今日はいきなり押しかけちゃって、ごめんねー？

855. 家にいなかったらどうしようかと思ってたけど、いてくれてよかった♪

856. SE:玄関を開く音

857. 感謝してよー？ 最後の思い出作り、手伝ってあげたんだからさ。

858. それに普通は、3Pなんてできっこないし、ミツキのおマンコも、アナルも…同時に犯してあげることが出来たんだからね。

859. あーあー、ミツキの満足そうな顔、スマホで撮影しとくんだったよ♪

860. あっ、そうだそうだ、お風呂貸してくれて、ありがとー。

861. ミツキはねえ、セックスをした後で一緒にお風呂に入るとき、すごく喜んでくれるんだよ。

862. 直前までイヤらしく喘いでたつのに、お風呂に入ったりするのはまだ照れが残ってるんだろうね。

863. ちょーつとおっぱいを揉んであげたりすると、すぐ顔を真っ赤にしちゃうんだもん。

864. ちょっと、アオイちゃんっ！ そ、そこまで言わなくたっていいじゃん。

865. あ、アオイちゃんにしか…見せてないんだからさ。

866. ん？ あれ、そうなの？ てつきし初めてセックスをした日に一緒に入ってたのかと思ってたんだけど…。

867. くすっ、そっかー、彼氏さんよりも、私の方が色んなミツキを見れてるんだねえ。

868. それはそれは嬉しいなあ♪ ミツキが私を選んでくれてよかったー！ くすっ。

869. もー、アオイちゃんってば、改めてマウントを取る必要なんてないのに…。

870. 意地悪なんだから。

871. 意地悪でもないし、マウントを取ってるつもりもないよ。

872. ただ彼よりも、私の方がミツキを愛してて、ミツキが私のことを愛してくれてるって、喜んだだけでもーん。くすくす。

873. でも、そうだ、どうせなら最後に見せつけてあげよっか？ (キス音)ちゅっ♡

874. (照れ気味に)きゅっ…もう、いきなりキスは反則だよお…。

875. くすっ、いいじゃん、いいじゃん。

876. ミツキはもう、この人の所には戻らない、ズーっと私の傍に居てくれるの、って自慢したかったんだし。

877. それがひどいんだよ、わざわざそんなことする必要ないじゃん。

878. 君だって…これ以上、見せつけられてもイヤでしょ？

879. くすっ、それはどうだかねー？

880. 目の前で寝取られて興奮してるような変態だよ？

881. 今だって、目の前でキスを見せられておちんちん勃起させてるって♪ くすくす。

882. ちょっとアオイちゃんっ！

883. まっ、これ以上からかってでも楽しくなさそうだし、バイバーイ。

884. SE:家を出て行く音

885. ふふっ、本当に騒々しいよね、アオイちゃんって。毎日一緒に居ても全然、飽きないよ。

886. あっ…！ 君と一緒に居た時には飽きちゃってたとか、そんなじゃないよ？

887. 君といた時間も…楽しかったからさ。

888. ただ、ごめんね…。アオイちゃんも言ってたけど、私はもう、君の所には戻らないし、戻れないよ。

889. (何かに気付いたように) あっ…ふふ…アオイちゃんが私の手を引いて、君の家から連れ出さなかったのは…わざと私たちを二人きりにするつもり、だったのかな？

890. ね、君は…どう思う？

891. なんて、わかりっこないよね。私も…わかんないもん。

892. でも…ふふっ、アオイちゃんのあいうところも好きなの。

893. 時々何を考えてるか…わからないこともあるけどさ、そういう、ちょっとわかりづらい所？ 私とは真逆だから、懂れちゃってるんだろうね、ふふっ。

894. …けど、あまり長い間話してるのも、よく…ないよね。

895. だって、私はもう……ココに来るつもりもないし、君の…彼女ではないから。

896. 今日…君とこうして会えて、よかったって思ってるよ。

897. それに…こんな、身勝手な私を…好きになってくれて、ありがとね。

898. 君と出会わなかったら、私はまだ誰とも付き合えず、一人きりだったんじゃないかなって…思うの。

899. もちろん、アオイちゃんとも、こんな関係には至らなかった。だから君には感謝してるんだ。

900. 君とお付き合いできたことで、私の世界は大きく広がったの。君と過ごした時間は無駄じゃない、ただ…ごめんね、君への愛情はもうない、私は…アオイちゃんしか、見えてないから。

901. ごめんなさい…私はもう、君とはお付き合い、できません…。

902. さっきも言ったと思うけど、私じゃない、もっと魅力的で純粋な子が…見つかるといいね。

903. 君の幸せを…心から祈ってるよ。

904. それじゃあね、バイバイ…。

905. SE:玄関が閉じる音

906. FO